

めぐりる アート静岡

静岡で、今を生きぬアートを紹介してきた展覧会。7回目を迎え、今年にはパフォーマンスアーツを巻き込んで、市内4カ所+α(野点)で開催します。まちをめぐって、8組の多彩な表現に出あうことで、見慣れたまちが違って見えぬかもしれません。

10/22(火・祝) - 11/10(日) **観覧無料**

*ヒロバのみ 10/19(土)~

東静岡アート&スポーツ / ヒロバ = 御宿至、熊谷拓明、岩野勝人、千葉広一 静岡県立美術館 = 堀園実
静岡市美術館 = 小左誠一郎 中勘助文学記念館 =
多々良栄里 小梳神社(10/20(日)のみ) = きむらとしろうじん

主催: 静岡県立美術館、静岡市美術館、静岡市 運営: (公財) 静岡市文化振興財団
協賛: 伸栄建設株式会社 協力: 小梳神社、株式会社三和シャワーリング、株式会社上坂

文化庁
令和元年度文化庁国際文化芸術発信拠点形成事業

2019
SHIZUOKA

ON
STAGE
SHIZUOKA
まちは劇場

東静岡アート&スポーツ／ヒロバ 10/19(土)ー11/10(日)

御宿至

みしく いたる 彫刻家／富士宮市在住

アーティストトーク 10/20(日) 14:00~14:40



- 1949 静岡県富士宮市生まれ 小学校から高校まで静岡市で過ごす
- 1977 イタリア国立ローマ美術アカデミー彫刻科 卒業
- 1992 「日本・イタリア新世代」展、ローマ国立近代美術館 他(イタリア)
- 1994 「第5回ヌーベルヴァンテ 御宿至彫刻展」フジタヴァンテ・ミュージアム(東京)
- 2001 「彫刻によるヨーロッパでの出会い」展、モントーバン市立美術館 他(フランス)
- 2005 個展「再生」ローマ大学付属現代美術実験美術館(イタリア)
- 2006 個展「結界」スポレート現代美術館(イタリア)
- 2007 日本通運株式会社創立70周年記念モニュメント制作コンクール、大賞受賞(東京)
- 2019 「めぐりアート+ 2019前期展示」グランシップ(静岡)



《SOMETHING GREAT ~記憶の風景~》2019 撮影:近藤正寛

御宿至といえば、静岡市民文化会館に設置された彫刻《記憶の風景-C》や折り紙を連想させる簡素で明快な造形が思い浮かぶ。その一方、廃物などを用い瞠目すべき状況を作り出すインスタレーションでも、ローマ大学の付属美術館やスポレート現代美術館で個展が開催されるなど評価は高い。今回は、ヒロバを舞台に、どのような「記憶の風景」が立ち上がるのだろうか。

静岡県立美術館 10/22(火・祝)ー11/10(日)

堀園実

ほり そのみ 美術家／静岡市在住

アーティストトーク

11/4(月・振休) 10:30~11:00
14:00~14:30

ワークショップ

11/4(月・振休) 10:00~12:00
13:30~15:30

《なみうちぎわの協和音》では、陸と海の境界が曖昧な海岸線を発想源に、浜辺に転がる石や漂着物を粘土でかたどり、波打ち際を再現した。何気ない風景を、ありのまま提示し、そこから鑑賞者の多様な解釈を引き出す試みであった。近頃、堀は、沖縄、フランスでの学びを経て、故郷の静岡に戻ってきた。今回の展示では、多様な価値観が同居する場に身を置いた後に見える、静岡の風景を表現する。



- 1985 静岡県清水市(現静岡市清水区)生まれ
- 2009 沖縄県立芸術大学大学院彫刻専修 修了
- 2016 平成28年度文化庁新進芸術家海外研修制度 美術1年研修(パリ国際芸術都市滞在)
- 2011 「グランシップアートコンペ2011」グランシップショーウィンドウ(静岡)
- 2015 「2015 イチハナリアートプロジェクト」浜比嘉島(沖縄)
- 2017 「オープンスタジオ」パリ国際芸術都市(フランス)
「ファルマコンー医療とエコロジーのアートによる芸術的感化」ターミナル京都・CAS(京都・大阪)
- 2018 「Emerging 2018 なみうちぎわの協和音」トーキョーアーツアンドスペース本郷(東京)



《なみうちぎわの協和音》2018 撮影:加藤健 画像提供:Tokyo Arts and Space

「めぐりアート静岡」は、今を生きるアートを紹介する展覧会です。大学、美術館、市民、行政等による地域連携の美術展として、2013年から始まり、7回目を迎えます。静岡から芸術を発信する場の創出を目指し、今年は、ユニークな野点やダンスなどのパフォーマンスを巻き込んで、市内4カ所+α(野点)で開催します。これら会場をめぐりながら、8組の多彩な表現に出会うことで、見慣れたまちが違って見えるかもしれません。